

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Tc-99m ピロリン酸シンチグラフィにおける H/CL 比算出 ROI 形状の違いや肋骨集積の左右差が及ぼす影響の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2020年3月1日から2022年7月31日までに当院においてピロリン酸シンチグラフィを施行した患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

ピロリン酸テクネチウムという放射性医薬品は、心臓疾患の一つである心 ATTR アミロイドーシスという病気の場合、心臓に集まります。この検査ではどのくらい心臓にピロリン酸テクネチウムが集まっているかを評価する方法として、H/CL 比という方法があります。この方法はシンチグラフィで得られた画像の心臓の部分と、その反対側の肺からどのくらい放射線が出ているかを調べます。このとき、心臓と肺をそれぞれ ROI と呼ばれる図形で囲います。この ROI の中の放射線だけを数えて評価します。現在はこの ROI はきれいな円形をしています。しかし、心臓は斜めに伸びた楕円形をしているため、心臓の一部が ROI からはみ出てしまいます。そのため、心臓全体の放射線を数えられていません。心臓全体を囲えるように ROI の形を楕円形や他の形にした場合、検査結果にどのような影響があるのかは分かっていません。

また、先程の ROI と呼ばれる囲いの中には肋骨に集まったピロリン酸テクネチウムからも放射線が出ています。このとき、肋骨へのピロリン酸テクネチウムの集まり方に左右差があった場合もどのような影響があるか分かっていません。

加えて、投与されたピロリン酸テクネチウムはすべてが骨や心臓に集まるわけではなく、一部は血液に残ります。その血液からの放射線についてもどのように影響しているか分かっていません。

この研究では、これらの影響について調べることを目的としています。

方法は、①現在の ROI の形で評価した H/CL 比と、ROI の形を変えた H/CL 比にどのくらい違いがあるか調べます。②左右の肋骨にピロリン酸テクネチウムの集まり方に違いがあるか調べ、その影響を加味した H/CL 比と、通常の H/CL 比にどのくらい差があるか調べます。③シンチグラフィのなかで、SPECT という方法で撮影した人体の輪切りの画像から、心臓と心臓の中の血液を分けて H/CL 比を評価することで、血液中のピロリン酸テクネチウムの影響がどのくらいあるかを調べます。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 9 月 30 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2020年3月1日から2022年7月31日までに昭和大学藤が丘病院においてピロリン酸シンチグラフィを施行した患者データを調査対象としております。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院放射線技術部

氏名：内山 匠

住所：神奈川県横浜市藤が丘1丁目30番地

電話番号：045-971-6311

研究責任者：内山 匠